

学体連会報

発 行 日 昭和 60 年 6 月 30 日
東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号
国立オリンピック記念青少年総合センター内
財団法人 日本学校体育研究連合会
発 行 者 会 長 大 石 三四郎



新しい息吹

会 長 大 石 三四郎
(国立特殊教育総合研究所所長)

日本は将に宇宙人への時代を迎えつつある。といったら、「お前は何でも、突飛なことをいえばよいと思っているのか。」と反論するだろう。

しかし人生の目標は、今日という時間と空間で考えてみると、「百才になっても、20 代の若者と対等に活動できる体力、気力をもつことだ」といったら大衆は何と反論するだろうか。半分の人、「そんな夢みtainなことを言って」というだろう。半分の人、とても実現はできないことだが、できたらそうありたいと思うだろう。たとえそれが、嘘、絵空事だと思っても、全く実現できないことはないかもしれない、と考えるだろうし、それへの論理や方法を構成すべく努力するに違いない。

ここに、新しい人間の哲学の起源が求められ、その上に新しいシステムが生まれ、最新の科学が生まれ、また宗教が創り出される可能性がある。

人間が一週間絶食したり、不眠の努力をしたり、何も難行苦行しなくても、生あるものはやがて死ぬことは自明の理である。なにも、千日の難行苦行を経験しなければ人生が理解できないということはない。むしろ、百才まで生きて、百才まで20代の若さを保つことの方がムズカシイし金もかかる。そこで自然の神様は、この人間に新しい子どもを産ませてその生命を育てた方が安上がりだと考えたに相違ない。そして、生物に男と女をつくり、細胞分裂システムを作り出して、生物に何万年でも続いて絶えることのない生命を伝える方法を与えたに相違ない。しかし、一つの生れた個体は死ぬことにはかわりない。だが、個人の私としては、百才までも生きられて、そして若いということなら、これに越したことはな

い。今日、もし、ブッダが生存されておられれば、きっと我々に百才まで若々しく生きよと説かれることであろう。決して苦行せよとはいわれまい。したがって、もし私が百才まで若さを保ちたかったら、子種を作り出すエネルギーがなくてはならない。そこで、現在の私はそのエネルギーをもっていないかということそうでもない。

したがって、百才で、しかも若さを保ちなければ、この子種生産のエネルギーを体内に確保しなければならぬ。

その秘法は、私がここにコト新しく言わなくても、昔より多くの人々が不老不死の秘密の方法はないかと苦心サンタンした行動の中に、その理論が宿されている。事実この地球上の生物で、百年以上生きのびる生物がいるとすれば、そこに不老不死の生命の秘密のメカニズムが隠されているかもしれない。

そして、たとえ百才までは生きられない生物にしても、その子孫を残そうとするような、何か生命力がある生物の中から、人間の生体に取り入れられるものがあれば利用すればよいのであろう。

ここに、新しい息吹とよばれる人生の目標実現への理論があるのであろう。そして、それが新しい息吹ともなる心理学とか、生理学への基底の創造的論理ともなるだろう。そして、この新しい目標にかかわる人生観が、新しい宗教誕生の大きな刺激ともなるのではないか。ここに何か新しい芽がある。

そして、この芽から新しい人間科学としての体育学なりスポーツ科学が生れる契機があるのだろう。ここに私は、日本の学校体育の研究にも、今までとは違った新しい息吹を導入したらと思っている。

単に、短い時間、狭い空間にとらわれることなく、広々とした、宇宙という広さの規模で、学校体育研究を構想したらどうだろうとも思っている。

私の夢か幻か、あるいはタワゴトともいえる論述は、実は、現在の我々が新しい息吹を求める基本的論理ではないかと思っている。冬が去って夏が来た

ならば、衣更えをしなくてはならない。昨日までよかったことでも、今日の新しい状況に合わなくなったなら潔く捨てなければならない。人間が一つの宗教にとらわれたり、一つのイデオロギーにポイントされなければならないことはない。

特集：学校体育に新しい息吹を ——若き指導者に期待する——

若き指導者を迎える側に期待する

——教員採用のあり方について——

東京学芸大学助教授

有 吉 正 博



今春、私達の研究室では丁度10名の若き指導者が巣立った。多少ひいき目はあるかも知れないが、10名ともバイタリティあふれる良き教師になるものと期待していた。ところが、なんとか教員の道へ入れたものは4名（公立の養護学校1名、私立学校2名、公立の非常勤講師1名）だけである。特に、東京都の教員採用試験に合格していながら、結局採用されなかった3名の話を知ると悲惨である。1名は高校B採用合格、他2名は中学B採用合格であった。現在、1名は体育館へもう1名は幼稚園へ体育指導のアルバイト、さらに1名は皮肉なことに目指していた中学教師ではなく中学校の夜警のアルバイトをしながら、再度今年の採用試験の受験準備をしている。今年はA採用合格でも、採用がなかったものもあったとも聞いている。

こうした教員採用の現状について、理解に苦しん

でいるのは私だけであろうか。採用試験に合格して採用がないというのでは、もはや採用試験とは呼べないのでは……しかも東京都の場合10月に合格が発表されてから採用の可否が明確になるのは3月～5月が普通である。むしろ、10月の段階で不合格となっていた方が、私学の教員や民間の会社への就職も可能となるであろう。また、最近の新任教員の赴任校は、養護学校や定時制高校といったところが多い。こうした学校では、むしろ特殊な指導能力や指導経験豊かな教員が望まれるような気がするのではあるがいかがなものであろうか。

どんなベテラン教師でも、最初はひょっこり新任教員であったはずである。願わくば、エネルギーに満ちた教員の卵が意欲を失うことのないような教員採用であって欲しいと思うものである。

若き指導者に期待する ——指導力を磨こう——

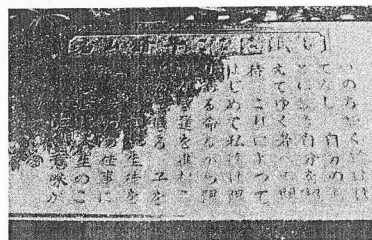
日本女子体育大学事務局次長 二階堂 直 富



○ 教育学者 石山脩平先生の教え

いのち短く道はは	りなき道を進むこ
てなし 自分のあ	とができる 子を
とに続き自分を超	育てる親 生徒を
えてゆく者への期	導く教師の仕事に
待 これによって	は 実に人生のこ
はじめて私達は限	うした深い意味が
りある命ながら限	含まれている

これは、教員採用試験の特別講座で、講師の先生が「教育とは」「教師とは」の根本理念をしっかりと持っていることが大切であると話されました。



東京・小平霊園にある石山脩平先生の墓碑

○ 太田さんの新任の決意

このたび、上田市立塩田中学校に勤務することになりました。先生方からいただいた数々のご教訓を生かして、どの子どもにも誠意をもって尽くしていきたいと思っています。

太田さんは「おはようございます」「ありがとうございます」と笑顔で挨拶された明るい学生でした。きっと「ありがとうございます」と素直にいえる子どもを育ててくださることでしょう。

さて、スタートしてから2ヶ月、ここらで一息いれて「なぜ教職についたのか」「教職について何をやらうとしているのか」これからの厳しい勤務に勝ちぬぐために確認しておく点があります。

こうすることによって「どの子どもにも誠意をもって尽くしていきたい」という目的を一層しっかりと持つことが出来ると思います。目的に向かってしっかりと取り組んでいくことが、1日1日を充実させていくことになります。

教育社会は独創性をもち、一つのことに徹底して取り組んでゆく勇氣と希望をもった人材を求めています。 *元東京都立富士高等学校校長 重田一先生

初心忘るべからず

東京都目黒区立中目黒小学校教諭 稲 田 正 克



今後、5年、10年、そして新しい21世紀の日本の社会を考えると、若い指導者に対する期待は大きい。

○ 指導力を磨こう

あの先生に教えられて「体育が好きになった」「運動が好きになった」といわれるために指導力を磨こう。そのためには、積極的に研究会、実技研修会に参加し、自己の教養を高め、常に指導技術の向上を図り、児童が十分に運動の楽しさを味わい、満足感や充実感を持てるような授業の展開を図ろうとする心を持とう。又、研究授業に参加するとき、す

でに手元に授業案内が届いていることが多く、教材名はすでにわかっている。そのとき、今日の授業で①教師の発問と児童の反応はどうか。②つまづきのある児童への手立てはどうか。③場の設定はどうか……など一つか二つに視点をしばって参加するとよいと思う。それらのことは、日常の体育指導上から自分の問題点として出てくるはずである。そのときの授業から得たことを自分のことばでつけ加えながらまとめておくと、今後の指導で役立つ貴重な資料になる。ぜひ実践してほしいと思う。また、授業を見てよいと思ったことは、自分の授業の中へ取り入

れてほしい、実践してみてもうまいかないこともあるが、それは課題を解決する力を育てることにもつながる。

体育の指導力を磨く最良の道は、研究授業のとき

子供の心と体の健康つくりを

東京都目黒区立中目黒小学校PTA会長

今の子供は遊ばないとか、遊び方を知らないとかよく話をきく。また、三無主義の子供たちとも聞かされている。

私の学校では、昨年度から体育の指導を通して、「たくましい子供」を育てる研究が進められている。学校から、子供達が家に帰ってからの遊びや遊びの時間、遊ぶ場所などについての実態調査の協力依頼があり、全家庭あげて調査に協力した。PTA会報でその結果が報告され、そのようすを知ることができた。確かに子供たちは、家に帰ってから、運動したり遊んだりしている時間が少ないことがわかった。もっともっと運動したり遊んだりする時間を取りもどすことが必要だと考えている。

学校では毎日放課後や日曜日など校庭開放を行っている。せっかく解放しても遊びにくる子供が少

進んで授業者になることである。

若いときほど、何ごとにも進んで取り組み、失敗を恐れず精一杯がんばり、指導力を高めるように努力することが自分を磨くことになる。



森 泉 直 之

ないために、家庭・地域・子どもにPRが行われている。私も日曜日によすを見に学校に行った。遊んでいる子供は数人であった。こんな傾向は区内のどの学校にも共通している傾向であると、PTA連合会の研修会でも課題となっている。そして「子どもたちの午後」の日を作って、思う存分遊ぶようにしてはどうかとの提言も行われている。

学校の先生方も女性が多くなり、家事や育児のため、放課後子供たちと校庭で遊ぶ姿があまり見られない傾向にあると聞いたりもしている。こんな事を考えると、体育時間だけは子供と一緒に、精一杯運動するようにしていただきたい。そして、気力体力ともに充実した、生き活きとして活力にみちた子供を育てて欲しいと願っている。



遠 藤 秀 夫

調査によると、小・中学生の一番好きな教科は体育だという。

「好き」という最大の味方を如何に活用して、現代の青少年の不調和を解消するか。それが私達体育指導者に課せられている大きな課題であろう。

反面、「スポーツ好きの体育ざらい」の子供達にしたり、「体育教師の体罰」がマスコミに話題を提供したりする。好きという前提のもとに、常にスキンシップを通しての指導や、教師の情熱が、時には過剰になってしまうのだろうか。

謙虚な心が、探究心を生み、向上させる。この一時間の授業で、どの位生徒を向上へ変容せうか。毎時間が生徒との対決と考え、教師の人格と生徒の人格のぶつかり合いの場にしてほしいものである。

「こんな若い体育の先生が来てくれるといいな」

東京都練馬区立石神井東中学校生徒

山 崎 創



僕の理想とする若い体育の先生は、僕たちの気もちを、わかって、接してくれる先生です。年の差がある先生だと、ものの考え方が、僕たちと少しちがうからです。

年の差がある先生がたからは、学ぶことは多いけれども、僕たちにとっては、近づきにくいところがある。だから、兄さんのような、若い先生がいいと思います。そしていろいろなことをおしえてもらいたいです。

鉄棒や、マット運動がうまいだけでなく、英語や数学などの勉強も、教えてくれるような先生がいたらいいと思います。体育の先生でも、学生時代には、一生懸命勉強をしていたはずだから、その時の勉強の仕方などを教えてもらえたら、とてもためになると思います。また、悪いことをした時などは、

父親のように、厳しく、しかってくれたり、よいことをした時は、よくやったと誉めてもらえたらいいと思います。

そういうことを合わせてみると、理想の先生というのは、父親や、兄のように、人生の先輩として僕たちをひっぱってってくれる人ということになります。そして体育の先生には、燃え上がるような、情熱とパワーがあれば最高だと思います。

僕たちの体育の先生は、父親のように、こわい時もあるけれど、よくやったと、ほめてくれる時もあります。それに、兄のように、おもしろい時もあります。僕たちの先生は、僕の理想にとっても近い先生です。僕も、この理想の先生のような、人間になりたいと思います。

さわやかに そして新風を

学体連 理事

東京都立片倉高等学校校長

菱 山 一 正



待望の教師となられた皆さん、おめでとう。厳しい選考試験を経て任用された皆さん、自信をもって勤務していただきたい。皆さんのこの晴れがましきう陰に、教職を希望しながら心ならずも就職できなかった多くの人のいることを思い、選ばれた者としての誇りと責任を十分に自覚して下さい。

さて、事務局より与えられた課題は、職場の校長として、新規採用教員への期待は、ということですから、そこで標題を選びました。若さと意欲に溢れている皆さんですから、“さわやかさ”を職場に吹き入れることは十分できるでしょう。又“新風”は、先輩の先生方が行っていることをそのまま真似るのではなく、子どものためにどうしたらよいかを考えて新しい方途を追求し、開拓して欲しい。賢明な皆さん1人ひとりが“よい教師とは”ということを考えていただければ幸いです。次に若干の例示をします。

① 10分前の登校を 始業ぎりぎりの登校や遅刻ではいけません。十分ゆとりをもって、しかも先輩教師を迎える気持で登校するようにして下さい。

② 声を出して挨拶を 朝のおはよう 帰りのさようなら は人として当然の行為です。先輩の先生へ、又教え子へ、ご近所の人々へ気持ちよい挨拶をかわすようにして下さい。

③ 教材研究を プロとして教壇に立つには、事前の教材研究は当然のこと。言訳は許されません。

④ クラブ・部活動を 教科の指導は当然です。クラブ・部活動の指導こそ子どもが期待していることを忘れないで欲しい。

⑤ 生活管理は自分で 仲間の先生方との付き合いも大切ですが、教師としての自覚を忘れないように。

このような授業をして下さい

東京都立片倉高等学校生徒

田 中 博 子



運動神経の鈍い私でさえ、小学校の頃は楽しかった体育の授業も、中学・高校と進むにつれ、形式化した内容がつまらなくなってきました。

小学校の体育の授業は技術的には深くなかったけれど、楽しむという観点では良かったと思います。中学や高校となると、それなりの技術が要求されることはわかりますが、今まで授業を受けてきて、いつも同じことの繰り返しにつまらないと感じているのは確かです。

今の授業形態は、一つの種目をほぼ一学期間かけてやるのは良いとしても、毎時間バレーならバスばかり、テニスなら乱打ばかりで、最初は楽しくやってもだんだん飽きてきてしまいます。先生の目を盗んでは座り込んでいるのはきっとそのせいです。それならば、一種目の時間数を減らしてたくさん

種目をやった方が良いのではないのでしょうか。

でもせっかくバレーならバレー、テニスならテニスをやるのだから、色々な練習をして、最後はゲームのように充実した内容の授業にしたいです。

高一の時にやったハンドボールは、初めてだったけれど、バスの練習から入り、色々な形の練習をしてゲームをやったのでとても楽しく、期間が短く感じました。

体育の授業というのは、教室で授業を受けてたまったストレスを解消できる、そんな場所であってほしいと思います。もちろん授業ですから遊びになっではいけないけれど、Enjoy精神で受けられる授業をしてくれる先生が私の理想です。

新任教師への期待

岡山県教育庁保健体育課指導主事 来 山 幸 夫



社会のめまぐるしい変化や価値感の多様化により、教育は大いなる変革の時代を迎えようとしている。

臨教審においては教育制度等の見直しがなされているが、教育は児童・生徒が生涯を通して健康で豊かな生活を送るための基礎づくりを目指す中で行われる、生徒と教師の行為であるという基本形態は普遍のものであり、しかも教育の営みの中核は、教師の心くばり以外の何ものでもない。

従って、職務を遂行するに当たっては、教師としての高い識見と専門的知識、さらには豊かな人間性と深い教育愛、強い使命感が要求される。時代的にも社会的にも教師の専門性を要求する声が一段と高まっている今日、そうした要請にこたえる一日一日の教育的営みはますます重要な意味を持ち、大切にされなければならない。

即ち、たゆまぬ自己研鑽とひたむきな教育的情熱こそ、教師としての資質を高め、自身の人間性を高めていくものである。なにかんずく、教師になって数年間の実践こそ、長い教師生活にとってかけがえのない貴重な資産となる。

職場の先輩の助言やアドバイスに心して耳を傾け、自らの研修に一層励むことが大切である。

たとえ、経験は浅くとも、児童・生徒に接するときのほとばしるような情熱は、熟練教師にも劣らぬ教育力をもつであろう。

聡明で深い洞察力を身につけ、教育愛と若い情熱によって、日々の教育実践に打ち込み、立派な教育者に成長することが、学校体育発展の礎となり、学校体育の新しい息吹きにつながるものと信じるものである。

〈 論 説 〉



学校体育の進むべき道

学体連 常務理事

日本体育大学教授

長 田 一 臣

人間存在の原点としての身体

人間は先ず身体という物質性をもって物理的に空間を占有することによって存在する。従って身体は人間存在の原点である。精神の座である脳も物質であり、人間の脳は霊長類の中でも最高度に発達をとげた身体の部分である。知も徳もこの内に在る。精神は身体という土壌の上に開化した馨しい花である。不健全を内蔵した脳あるいは損傷ある脳からは健全な精神は生まれないから、基本的には「健全な精神は健全な身体に宿る」といって間違いはない。

脳は内外の刺激特に初期には身体的運動による末梢からの刺激によって基本的には発達をとげてゆくから、体育は学校教育における地殻を形成しているといえる。従って学校体育は発生的には心身を総括する基本的教育のすべてであって、「体育は教育の一領域」などという生やましい存在ではないことに心を致すべきである。

何のための体育か

東京高等師範学校の校長だった嘉納治五郎は附属中学校の生徒に対して諄々と説いたという。「この中学校は上級の学校に進むための予備校では決していない。教室の授業も運動場での体育も、すべては何かの手段ではなくて、それがそのまま価値のある目的なのだ。学問も体育もそのもの自体が尊いのだ」と。(「文芸春秋」昭60. 1. 弘文学者市原豊太)

「そのもの自体が尊いのだ」という在りかたは、今日的社会ですでに忘れがちな考え方なので説明しにくい事柄に属するが、人間が人間として成長してゆく基本的道すじに触れた尊いことばである。

これと対置した例として中国のことについて触れたい。中国における体育・スポーツの目的ははっきりしている。①社会主義国家建設に役立つ心身を育

成するため ②国土防衛に役立つ心身の鍛錬 ③生産性向上に役立つ心身の育成のために体育・スポーツを行う、というのである。これは、本で読んだことを書きあげているのではなく、昭和49年の夏スポーツ科学研究者交流で訪中した折、筆者が中国の指導者に質問をして直接引き出した応答である。

「日本では、何かのため(たとえば国家など)に体育やスポーツを行うのは邪道で、それは純粋に個人に帰属するものだ、という考え方をもっているが、中国の青少年はどのような動機で体育・スポーツを行なっているか」という質問であった。これに対して、「最初はやはり個人的興味から入るのは同じである。しかし、いつまでも、ただ面白いだけで体育やスポーツをやっているだけでは困るのだ」という中国側の返答であった。

学校体育如何に在るべきや

「手段ではなく、それがそのまま価値のある目的」という時、これはスポーツが無償の行為という本質には添っている。国家が一つの目的をもって国民に体育・スポーツを实践させるときは中国のような形をとることになる。これは過去において日本もやってきたことである。

手段化することが必ず悪いということにはならない。人間形成の手段として、社会人として秩序を学ぶ手段として、健康で幸福な人生を送るための手段として体育・スポーツが行なわれていっ向に差し支えない。就職への有力な手段になることもある。しかし、高校野球がプロ野球のファームになるような在り方は行き過ぎである。学校体育は教育という立場からもっとつつしみを持つべきであり、また、社会に出て役立つような「校門を出る」体育であってほしいとも思う。

*** 支部だより ***

兵 庫 県

昭和 61 年第 25 回全国大会に向けて

兵庫県学校体育研究連合会会長
兵庫県立川西北陵高等学校校長

岩 地 昭

今年は、21 世紀へ向けての夢を乗せて、筑波では「科学万博」が、また、本県でも、淡路・徳島を結ぶ大鳴門橋の完成を祝して国生みの神話の地である淡路島では「くにうみの祭典」が開催中であり、8 月には、若人のスポーツの祭典である「ユニバーシアード神戸大会」が催されるなど記念すべき行事の多い年である。

いよいよ明年は、11 月 20・21 日の予定で神戸市を中心に西は姫路市、東は尼崎市と五市にわたる広範囲の会場で第 25 回全国大会が開催される運びとなり、それに向けての実行委員会も発足し、準備も着々進行中である。

今世紀は「教育混乱の時代」でもあるといわれている。

目下、臨教審をはじめ、本県でも教育行政・教育

三 重 県

小学校体育の充実をめざして

三重県学校体育研究連合会会長
三重県桑名市立大山西小学校校長 伊 藤 善 昭

三重県小学校体育研究会として発足以来三十余年が経過し、その間、会員の方々の熱意によって、体育カリキュラム編成（学習指導要領改正期毎に）、会員相互の研修、県版副読本の執筆にと、年を重ねる毎に充実してまいりました。

昨年は、夏期合宿に、授業をまじえながら授業方法の研究、地区単位で授業研究会、また、県指定校の授業参観に、会員自身の技術の向上と、会員の獲得に努めてまいりました。

二十数年前を振りかえると若かった私自身、唯ひたすら体育教科を通して、子どもの体力づくりに励んでまいりました。がむしゃらの中にも、指導方法、指導内容、そして、「生き生きとした体育授業」はいかに！と、教えたのは、小体研に会員とし



内容などの見直しがすすめられている。この度の教育改革の基底の一つは、偏差値中心の知育偏重教育の是正にある。従って、これからの教育において、徳育とともに体育の果たさなければならない役割はますます重要となってくる。

「教育は人なり」という語があるが、今日ほどこの言葉が痛切に感じられるときはない。よく、今の教育には、教があるが育がないと言われるが、育とは温かく児童・生徒を受容し、はぐくみ育てることである。そのためには教師には深い学識と高い実践的な指導力、高潔な人格などが要求され、それがための研さんと修養の大切さは言をまたない。

この意義深い時期に、本県で大会が開催されることはまことに名誉なことであり、責務も重大である。ご支援ご鞭撻を心よりお願いする次第である。



て加入した時からでした。実践から理論へと、理論から実践へと、数々の教えを受けながら成長しました。

再び、小学校体育研究会に籍を置くことになりました私、責務の重大さに、身が引きしまります。

日本学校体育研究連合会より、埼玉で学校表彰を受けた十余年前から、全国組織のあることも知り、一昨年は、神奈川大会に参加させて頂き、体育研究の隆盛と、技術の向上、熱心な参加者に、驚異の眼で参観させて頂きました。

県としても、会員の研修に、子どもの可能性を引き出す授業研究にと、お互いが切磋琢磨しながら、研修、研究、指導に励みたいと念じております。

----- 学体連講習会のねらい -----

東京学芸大学教授 関 四 郎



講習会の意義

講習の用語は「講じて習得せしめる」または“学問、芸術などについて学び習得する”ことを意味するが、一般的には学問芸術に限らず、幅広い分野で用いられている。即ち、講習は個人または団体がある目的のもとに特別な内容を編成して受講者を募り、参加者に予め用意された内容を講義、講演、実習、実演などを行って習得させようとするものと解することができる。このような講習は主催する者あるいは団体のねらいによって、そのもち方もさまざまである。例えば、不特定な受講者を対象として受講させる場合（希望者は誰でも参加させる）もあったり、参加資格を決めて受講させるものや、参加者に一定の内容の習得を義務づけ、ある資格を授与するものもあれば、自由な受講ができて義務づけもない場合もあるなど様ではない。

学校教育のなかで講習という用語が使われ初めたのは、明治 5 年の学制発布に続いて明治 6 年 4 月に各府県に設けられた師範学校、教員講習所（東京では東京府庁内に小学教則講習所が設置される）、伝習所等の機関で、ここでの小学教則講習所は小学校教員の養成にあたとされ、講習の用語が使われているのが見られる。さらに、明治 15 年 9 月～16 年 3 月まで、東京師範学校（旧東京高等師範学校の前身）において「小学師範学科取調員」講習を全国から選出された取調員を対象とし、教員の質的向上をはかるために実施している。その内容は教育学や教科教授法の講義、実地授業などであった。ここで用いられた講習なる用語は全国の小学校教員を指導する者を対象とした一定の内容の習得と指導を義務づけられたものであった。

すなわち今日の見方からすればこれは明らかに現職教育であった。爾来、講習なる用語は学校教育においては幅広く用いられ、体育においても指導者講習会、実技講習会、或いは体力づくり講習会な

ど主催者側の明確な目的のもとに必要な講義、実技内容を設定して開講し、受講者に内容の習得をさせるよう実施されている。しかも大多数は学校体育、社会体育などの指導者を対象とするものであり、一部教員資格認定試験と結びついた講習の他は現職者を対象としてきている。

講習の在り方

国や府県などの機関が管下の教職員を対象として行う講習については、目的も明確に捉え易く、教育現場のかかえている問題を踏まえ、期待する資質の向上に役立つ内容を、対象を絞って実施することができるのでその在り方を問う必要はない。しかし最近社会の各層から指摘されている学校教育に直接携わる教師の指導力不足ではないかとする点について教師側に対する指導力形成要因の調査によれば、公式的研修が指導力形成に役立っているとする者が 29.4%であるのに対し、非公式研修が役立っているとする者が 67.2%とほぼ 2 割を占めていることを注目すべきである。即ち教育実践における問題は極めて複雑であり、一つの事象もいくつかの絡み合った内容を含んでいると予想されるだけに同職の先輩と話し合い、個人が課題意識をもち児童・生徒への慎重な対応を積み重ねつゝ解決への努力を行っていくことが指導力の形成につながるものであると解される。

従って、研究連合会の場合などでは、自主的に課題や問題意識をもち、参加する者が多いと予想されるだけに、フォーマルな機関では手の届かない内容を取り入れた講習を企画されるよう望むものである。例えば講師による指導計画の間に受講者から提示された問題を含めた内容を組み入れ、質疑だけでなく実施と結びつけたものにするのも一つの方法である。また、実践指導において不安となる事柄は、その指導の理論的構築がないことである。ある運動内容の扱い方、発展過程について自信をもって指導にあたれるような講習内容などが望まれる。

★ ★ ★ ★ ★ 全国大会ニュース ★ ★ ★ ★ ★

第24回全国学校体育研究大会（鹿児島大会）
の成功を期して鹿児島県学校体育研究連合会会長 岩 元 俊 一
鹿児島県立鹿児島中央高等学校校長

1. はじめに

鹿児島県は、昭和47年に太陽国体と名うって第27回国民体育大会を、また、太陽国体開催から10年目にあたる昭和57年に全国高等学校総合体育大会を開催し、施設設備の整備・拡充、体育・スポーツの振興・発展、競技力の向上等に多大の成果をおさめるとともに、県勢発展のうえて県民に大きな自信をもたらしました。

今回、第24回全国学校体育研究大会が、従来から本県で独自に開催している県学校体育研究発表会開催30年目にあたる本年度に、九州地区学校体育研究発表大会を兼ね11月14・15日に開催します。

2. 開催の準備状況

全国学校体育研究大会の開催は、本県における学校体育指導がさらに発展する絶好の機会である。

これを機会に、本県指導者の学校体育指導に関する研究活動等を啓発して指導者の資質の向上を図り、学校体育指導の充実・発展を目指すところに重要な意義があると受けとめています。

そこで、研究主題を「生涯体育を指向し、豊かな人間性を育成する学習指導の在り方」として、県学校体育研究発表会の講師に、昭和58年度は佐藤良男氏（文部省体育局体育官）、昭和59年度は嘉戸脩氏（東京学芸大学教授）を依頼し、研究・実践の取り組み等について御指導をいただきました。また、部会研究主題に基づいて、分科会研究主題を設定し、各分科会会場校を中心にして、研究・実践に取り組んでいるところです。

本大会に、全国各地から多数の先生方の御参加を心からお待ちしております。

3. 部会・分科会研究主題及び指導助言者等

部会	部会研究主題	分科会番号	分科会研究主題	研究授業	公開授業	指導助言者（案）	研究発表県名
幼稚園	からだを動かして、自然の中で遊ぶことの好きな子どもの育成を目指す保育活動のあり方	1	左に同じ	森や土で遊ぶ いろいろな用具で遊ぶ （私立錦ヶ丘幼稚園）	集団リズム	落 合 優 （横浜国大助教授）	沖 縄 県 松元町立松元幼稚園
小 学 校	一人ひとりがめあてをもち、楽しく運動に取り組む児童の育成を目指す学習指導のあり方	2	一人ひとりの子どもが意欲をもって取り組む楽しい体育学習をめざして	表現運動 （鹿児島市立中洲小学校）	基本の運動等	山 田 敦 子 （天理大学助教授）	熊 本 県 会場校
		3	一人ひとりがめあてをもち、意欲的に取り組む楽しい体育学習をめざして	陸上運動 （鹿児島市立玉江小学校）	基本の運動等	大 木 昭 一 郎 （筑波大学教授）	大 分 県 会場校
		4	めあてをもって自ら活動し、運動に親しみ、体力づくりに励む子どもの育成	体 操 （鹿児島市立西谷山小学校）	基本の運動等	佐 伯 聡 夫 （筑波大学助教授）	宮 崎 県 会場校
		5	一人ひとりが生き生きと運動に取り組むための体育学習指導法 一個に応じためあてのめたせ方	器械運動 （指宿市立柳田小学校）	基本の運動等	嘉 戸 脩 （東京学芸大学教授）	沖 縄 県 会場校

部会	部会研究主題	分科会番号	分科会研究主題	研究授業	公開授業	指導助言者（案）	研究発表県名
小 学 校		6	自分の体力を知り、めあてをもって楽しく取り組む体育学習のあり方はどうすればよいのか	器械運動 （川内市立川内小学校）	基本の運動等	作 野 史 朗 （三重大学授業）	佐 賀 県 会場校
		7	子ども一人ひとりが楽しく体育学習に取り組む指導法の研究	表現運動 （始良町立始良小学校）	基本の運動等	石 黒 節 子 （お茶の水女子大学助教授）	長 崎 県 会場校
中 学 校	課題意識をもち意欲的に運動に取り組む生徒の育成を目指す学習指導のあり方	8	格技の特性にふれる喜びを味わわせすんで課題解決に取り組む格技学習のすすめ方	格 技（剣道） （鹿児島市立西原中学校）	陸上競技（障害走）	川 崎 順 一 郎 （熊本大学助教授）	福 岡 県 会場校
		9	一人ひとりが自己の能力に応じた課題をもち、意欲的に運動に取り組むための学習指導はどうあればよいのか	体 操 （鹿児島市立伊敷中学校）	バレーボール	団 琢 磨 （広島大学教授）	熊 本 県 会場校
		10	課題意識をもち、すすんで学習する生徒の育成	ダンス （川内市立川内中央中学校）	バスケットボール	岸 順 子 （香川大教授）	長 崎 県 鹿児島県中学校体育連盟ダンス専門部
		11	課題意識をもち、意欲的に運動に取り組む生徒の育成を目指す学習指導のあり方	器械運動 （加治木町立加治木中学校）	体力づくり	矢 野 久 英 （東京学芸大学教授）	宮 崎 県 会場校
高 等 学 校	生涯を通じて意欲的に運動に取り組む生徒の育成を目指す学習指導のあり方	12	教科体育における格技（柔道）の特性に応じた効果的な指導法について	格 技（柔道） （県立甲南高等学校）	持続走	松 川 哲 男 都立航空高等専門学校教授	佐 賀 県 会場校
		13	健康・体力づくりに意欲的に取り組む生徒の育成を目指す学習指導のあり方	バレーボール （県立錦江湾高等学校）	バスケットボール	厨 義 弘 （福岡教育大学教授）	福 岡 県 会場校
		14	意欲的に運動に取り組む学習過程の試み	ラグビー （県立鹿児島工業高等学校）	持続走	伊興田 康 雄 （筑波大学助教授）	大 分 県 鹿児島県高等学校教育研究会体育部会
特 殊 教 育 諸 学 校	障害の種別や程度に応じて、楽しく運動に取り組む児童生徒の育成を目指す学習指導のあり方	15	左に同じ	小学部 リトミック 巧技台を使った運動 中学部 ボール運動 高等部 球 技 （県立武岡台養護学校）	固定施設を使った運動等	生 田 豊 （徳島大学附属養護学校長）	熊 本 県 鹿児島県特殊教育諸学校教育研究会体育部会

保健教育・安全教育中央研修会に参加して－6月25日(火)～27日(木)－ 国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて

東京都立白鷗高等学校教諭

池 田 道 明



〈全体会〉講演では平山先生(予防がん学研究所長)が「未成年者の禁煙教育はなぜ必要か」を疫学的・統計学的に喫煙による癌誘発論を展開された。わかりやすい言葉で、受講の喫煙者の禁煙を諄々と説得された。なかでも「タバコは国を滅亡させる」という説明は印象的であった。禁煙教育の重要性をことさらに強く感じた。午後、文部省の下宮体育局学校保健課長から、僻地学校の心臓検診、禁煙の手引、ヘルスカウンセリング等の新施策について説明があり、交通安全教育、保健指導の徹底が強調された。

次に、「保健指導の現状と指導の充実」の主題で石川教科調査官から、保健学習による健康観の内面化を計り、潜在エネルギーの増大、即ち対処能力の開発を期すことが肝要と説明された。続いて「安全教育の現状と指導の充実」の講演では疲れた研修会参加の先生方を癒しながら、笑いを呼び興味深く話された。危険に対する予知、対応、判断力を育成し、

更に他の人々の安全を守る等を指導上の問題とし、学校内で先生方の安全への意識高揚が校内の事故発生件数を激減させる例も話された。(吉田教科調査官)

〈分科会〉(高校部会)都教委高田指導主事、都立片倉高菱山校長、都立永山高池田教諭、千葉県立千葉北高猪股教頭、同県立柏北高石毛教頭を講師に2日間にわたって、教科保健の指導計画、指導展開の在り方、評価、学校保健指導の重要性、安全指導の計画、展開等を中心に勉強した。各先生方の深い学識、個性あふれる人間性から学ぶことが多く、自分の不勉強さを大いに認識した。教科保健での指導の工夫、保健学習の定着化、深い科学的根拠からの説得力、安全への態度・能力育成を考えた指導計画等いづれも形成的評価を基盤として、今後研修する必要性を深く胸にたたみこんだ研修会であった。

学校体育振興会レポート

「着る身になって良い品づくり」

—— 学校体育の振興について衣料提供の立場より ——

日本学校体育振興会理事長
児島株式会社取締役社長

山 本 哲 男



当社では、衣料の供給という立場から、学校体育の振興について積極的に取り組んでまいりました。

一口に学校体育衣料と申ししましても、幼稚園から大学まで、そこにはさまざまなニーズがあります。素材についての耐久、衛生の問題、機能性、安全性の問題の他、デザインも貴重なファクターの一つです。学校体育という事を考慮して、さまざまな研究開発を行って来しました。

現在、コロンバイン印スポーツウェアは、それぞれの分野で一応の成果をあげたと自負しております。

今後の課題といたしましては、上記の点について一層の努力を怠らない事はもちろんですが、特に、

学校衣料としての経済性(価格の安定)、小ロットへの対応等、総合的なサービスの充実をあげています。具体的には、高効率機械の導入による、学校毎のデザインにも十分対応できる生産システム、および、教育現場の生の声を企画生産部門にフィードバックできる、きめの細かい全国的販売網の確立を前提に、生産コストの安定とあらゆる注文に対する高品質の保持と納期の厳守を考えています。

学校体育衣料についての、ご意見、ご希望がございましたら、弊社あるいは、学体振事務局(0864-72-2830)までご一報をお願い致します。

**** 事務局 だ よ り ****

1. 役員の異動について

新村正雄理事長から、他の公職との関係で理事長を辞退したい旨の申し出があり、4月26日(金)の評議員会・理事会でこれが認められた。

同時に、浅田隆夫常務理事の副会長も承認された。

2. 全国大会について

学体連は昭和21年12月、日本体育指導者連盟として発足、25年2月23日、財団法人となり、37年10月12日 財団法人 日本学校体育研究連合会と改称、この年初めて、全国学校体育研究大会が千葉県で開催された。集る者3,000人というから、戦後待望の行事の幕開けとなったのである。

昭和54・55年度、東京で2年続けて全国大会を引きうけたのは、他府県で引けうけ手がなかったからである。以後大阪が56年度開催に名乗りをあげてくれ、57年の新潟大会の折には、東・中・西の順で、られるように、各県ともに努力しようとの声が大きくなった。58年度の神奈川について、沖縄が59年度立派な大会を開いて下さった。

4月26日の評議員会・理事会に、沖縄の中村正徳会長は、「沖縄大会に全国からお集まりいただき、立派なご指導、ご助言を賜りまして、誠に有難うございました。あの大会を基にして、さらに努力、精進いたしまして、一步々前進したいと考えております」と挨拶。大石会長からは特に、「沖縄大会を開いていただき、大変有難うございました」というお礼のあいさつがあり、盛大な拍手。

今年、第24回は鹿児島県。全体会場は鹿児島市民文化ホール。分科会は幼1、小6、中4、高3、養護1、計15、鹿児島市、指宿市、川内市、加治木町、始良町に分散される。11月14日(木)、15日(金)。研究主題は「生涯体育を指向し、豊かな人間性を育成する学習指導のあり方」。着々と準備が進んでいる。

昭和61年度は兵庫県、第25回大会。先年度、3回の準備委員会を開き、さらに60年度は深めようとしている。全体会場は神戸市、11月中旬を予定し、16分科会となろう。

62年度は宮城大会、第26回。60年1月以後3回の準備委員会、6月19日に第4回の予定。

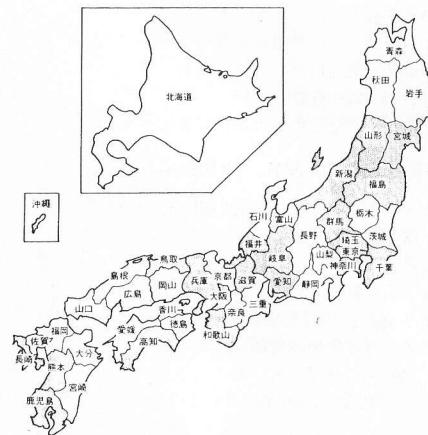
63年度は、この評議員会・理事会の席上、大石会

全国学校体育研究大会東・中・西部別開催一覧

(昭和63年度まで)

年度	回	東	中	西
昭和37	1	千葉		
38	2		兵庫	
39	3			鳥取
40	4	東京		
41	5		岐阜	
42	6		大阪	
43	7	福島		
44	8			高知
45	9			長崎
46	10	埼玉		
47	11		福井	
48	12		和歌山	
49	13	山形		
50	14	東京		
51	15		滋賀	
52	16			熊本
53	17	群馬		
54	18	東京		
55	19	東京		
56	20		大阪	
57	21		新潟	
58	22	神奈川		
59	23			沖縄
60	24			鹿児島
61	25		兵庫	
62	26	宮城		
63	27		愛知?	

全国学校体育研究大会開催一覧 (■は開催県)



長より改めて、東海地区特に愛知県ではいかがとのお願ひがあり、愛知県学体連山本八郎会長は、「県学体連の機関や県教委とも相談して努力したいと思う」と答えている。

この他に、いついつならば、指名を受ける用意があるといっている県もあり、全国の先生方のご協力が、次第に具体的に実を結んで来ているのがよく分る。しかも、東・中・西という順序が生かされている。誠に有難く、嬉しいことである。

3. 大石会長の発言について

学体連大石三四郎会長は、評議員会・理事会の最後に、特に次のことを言われた。

(1) 養護学校関係、幼稚園関係の表彰が完全な形で行われていない。数年前に障害者体育研究連合会を作った。また、スポーツ教育学会を作った。このスポーツ教育学会が、学術会議の会員となった。従って、体育学会と対等の地位を確保した。改めてこの中に、障害者部門、幼稚園部門を作りたいと考えている。やがては、幼稚園・養護学校等の表彰の時が来るだろう。

(2) 改めて表彰の主体を文部省関係でやって貰うよう、請願文を起草して、文部省に提出したい。いかがでしょうか。(盛大な拍手) これを毎年繰り返していくうちに、いつかは通る時が来よう。

(3) 予算のこと。宮城県からも話があったが、地方の研究会の補助等、できるだけ努力したい。活発に各県の研究会をやっていたきたい。

(4) 役員について。理事長が辞めて後任者が決定するまでは私が兼任いたします。他の理事の変更についても、会長に一任願いたい。

全員異議なく承認したことは申すまでもない。

4. 学体連主催の講習会・研修会について

以下(1)～(3)の講習会・研修会の申し込み、会費振込先は、次の通りです。

◎ 申し込み先

〒151 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内
財団法人 日本学校体育研究連合会
会長 大石 三四郎
電話 03-465-3954・7464

◎ 会費振込先

第一勧業銀行代々木支店
普通預金口座 №1364078
財団法人 日本学校体育研究連合会
会長 大石 三四郎

(1) 第5回障害児キャンプ指導者講習会

ア 期 日 昭和60年7月23日(火)～25日(木)
2泊3日

イ 会 場 高木記念日本平ロッジ(社会福祉法人日本肢体不自由児協会所有)
〒424 清水市馬走1482 日本平山上
電話 0543-34-2738

ウ 趣 旨

現在、全国の盲・聾・養護学校・特殊学級には、多くの障害をもつ児童・生徒が在籍しており、その指導には担当の教師が日夜苦心しているところである。このようななかであって、この講習会は、日常生活との関連が深く、かつ学習プログラムを含んだキャンプの理論と実践を通して、現場教師の指導力を高めようとするものである。

エ テーマ

指導力を高める障害児キャンプの理論と実践

オ 内 容

- ① 講 義 ・組織キャンプの沿革
・キャンプのプログラム
・グループワークの理論と実際
・障害児の医学的理解
- ② 実 習 ・野外炊飯 ・入浴介助
・キャンプファイアー
- ③ 見 学 ・映 画

カ 講 師

常藤恒良 財団法人日本児童手当協会参事
正富 寿 財団法人毎日新聞社会事業団参事
飯笹義彦 社会福祉法人日本肢体不自由児協会医療社会事業員
遠藤泰弘 都立清瀬小児病院医師
西園 洋 社会福祉法人済美会職業実習科職員

キ 定 員

ク 参加費 ¥16,000(宿泊費、資料費、会場費、講師謝金等にあてる)

(2) 第16回全国学校体育実技研修会(幼稚園の部)

ア 期 日 昭和60年8月27日(火)、28日(水)

イ 会 場 東京都新宿区立戸塚第2小学校
〒160 新宿区高田馬場1-25-21
電話 03-200-4324・6600

ウ 趣 旨

幼稚園では望ましい経験や活動として、いろいろな運動遊びがとりあげられている。

運動遊びは園庭や遊戯室などの自由な遊びの場やクラスの一斉の活動で展開されている。それぞれの場で個々の子どもに対して、どのような言葉がけをし、手をかけてやるかは、運動遊びの指導の上で大切なことである。また、一斉の活動としてどのような活動が教師によって選択されるべきか、そして指導上のポイントは何かを考えることも大切である。以上のことから、幼稚園における運動遊びの指導について、実技を通して研修することを計画した。

エ テーマ

楽しい運動遊びの指導のポイント

オ 内 容

- ① 講 義 幼稚園における運動遊び
- ② 実 技 幼児の運動遊びの基本的考え方
—作って遊ぶ—
幼稚園における身体表現の指導のポイント
幼稚園における遊具を使った指導のポイント
幼稚園における鬼遊びの指導のポイント

カ 講 師

近藤久夫 東京学芸大学教授
小林美実 宝仙学園女子短期大学教授
中西雄俊 月かげ幼稚園園長
日本女子体育短期大学講師
宮上悦子 東京学芸大学附属幼稚園主任
キ 定 員 70名
ク 参加費 ¥4,000(資料代、講師謝金、会場費等にあてる)

(3) 第16回全国学校体育実技研修会(小学校の部)

ア 期 日 昭和60年8月29日(木)、30日(金)

イ 会 場 東京都目黒区立中目黒小学校
〒153 目黒区中目黒3-13-32
電話 03-711-7629

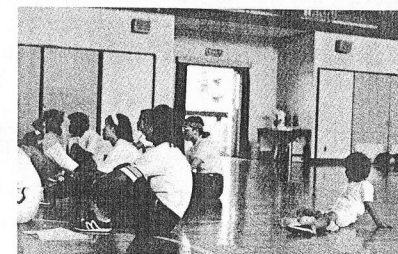
ウ 趣 旨

小学校では、基本的な事項を示すにとどめている学習指導要領の目標や内容の理解に努めながら、そのなかで、児童一人ひとりが運動の楽しさを味わうことを重視しつつも、発達段階に応じて何を目標し何を身につけさせたらよいかを、手さぐりしているのも事実である。

このような時、全国の教師を対象に、開催地の研究団体と共催して、実技を通して、各運動領域の特性をおさえた学習課題を具体化し、指導のポイント及び評価について研修し、指導力の向上を図ろうとするものである。

エ テーマ

学習課題達成の喜びを体得させる体育指導と評価



子どもづれのお母さんも受講する

- オ 内 容 ・基本の運動 ・ゲーム
・ボール運動 ・表現運動
・体 操 ・器械運動

カ 講 師

春山国広 筑波大学助教授
野口修二 品川区教育委員会指導主事
菅原健次 墨田区立第三吾嬬小学校教諭
笠原成元 筑波大学助教授
矢沢公雄 保谷市教育委員会指導主事
奈尾 力 千代田区立富士見小学校教諭
石黒 健 東京都教育委員会指導主事
板沢撰一 武蔵野市立第三小学校教諭
馬場京子 東京女子体育大学非常勤講師
館 雅子 東京都立教育研究所指導主事
川口喜平 足立区立入谷南小学校教諭
小原 晃 筑波大学助教授
岩下和夫 杉並区教育委員会指導主事
萱野政徳 大田区立清水窪小学校教諭
長沢清夫 東京学芸大学助教授
小林 繁 練馬区教育委員会指導主事
内藤 信 渋谷区立猿楽小学校教諭
キ 定 員 150名
ク 参加費 ¥4,000(資料代、講師謝金、会場費等にあてる)

5. 昭和60年度全国保健体育優良校・ 功労者表彰について

各都道府県推せん委員会より学体連あて推せんの
期限を、6月29日(土)とする。

中央審査委員会は7月26日(金)。従って各都道
府県推せん委員会にこの結果をお知らせできるのは、
順調にいった8月上旬。優良校・功労者に対し、表
彰式へご案内できるのは8月上・中旬になると考え
ている。表彰式は11月14日(木)、鹿児島市民文化
ホールで行われる。

6. 昭和60年度都道府県研究大会等について

各都道府県で、どのような研究主題で、誰が、あ
るいは何という研究グループが、何時、どこで研究
発表をするのか、その研究大会の名称は何というの
かについて、小・中・高校別に回答して下さるよう
お願いしております。7月13日までにとしており
ますので、研究同行の先生方の活用を希望いたしま
す。

—— 編 集 後 記 ——

会報18号をお届けいたします。組織を活性化して
いくためには、新進気鋭の人材を絶えず補充してい
く必要があります。新任教員の活躍を期待します。

送り出した側が指導者に期待するもの、迎える側
が指導者に期待するものを特集してみました。参考
にしていいただければ幸いです。

学校体育を支える基本理念を大石会長、長田常務
理事から語っていただきました。きびしい道を選択
したことになります。自己修養、自己研修の機会を

多く持ち、自己を高めていただきたい。

研修会、全国大会の準備も着々とすすんでおりま
す。会員以外の方にも心よく御寄稿いただくことが
できました。

お忙がしいところを御執筆いただきました皆様に
厚くお礼申し上げます。この会報が多くの先生方に読
んでいただけることを祈念して。

編集委員会 伊 藤 忠 一

**BIG-FUN
CYCLING**

身体に合わせて
3サイズ(16"~20")
カンガルーシリーズ
¥17,000

MARUISHI

お問い合わせ先
丸石自転車経営企画部 TEL.03(252)6391
東京都千代田区鍛冶町1-10-4